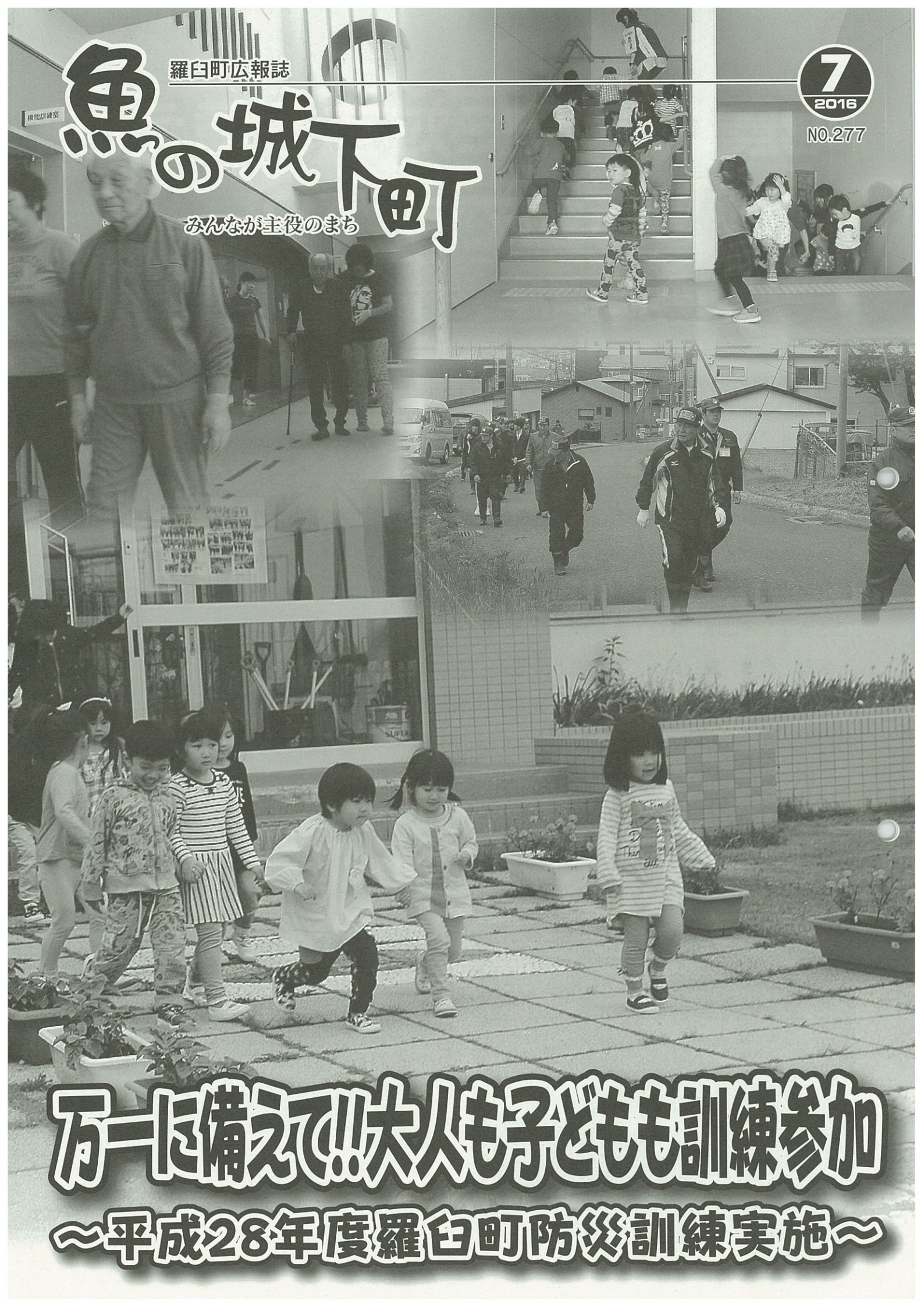


魚の城下町

羅白町広報誌

みんなが主役のまち

7
2016
NO.277



万一に備えて!!大人も子どもも訓練参加
～平成28年度羅白町防災訓練実施～

地震・津波に対する備えは万全ですか？

～平成28年度羅臼町防災訓練終了～

町民の25%が参加

6月15日(水)に羅臼町防災訓練を実施致しました。町内会をはじめ、小学校、中学校、高校、幼稚園や福祉関係事業者、買受人組合、羅臼漁協、一般企業のほか、今年は子育て支援センター『ありんこ』の利用者が初めて訓練に参加して頂き、町民の25%以上、1,384名が避難訓練やシェイクアウト訓練を実施致しました。

訓練では、大地震と津波の想定で行い、一時避難場所の確認と津波到達予想時間までに避難できるかを各地域・学校・職場等において確認を行いました。

また、役場、羅臼漁協、羅臼海上保安署、陸上自衛隊羅臼班、羅臼駐在所、知床らうす国保診療所、羅臼消防署の関係機関による情報伝達訓練を実施、町内に被害があった場合、役場職員がどのように対応するかの訓練を行いました。

このほかに、羅臼消防、知床らうす国保診療所の連携による負傷者受入訓練や、羅臼海上保安署、羅臼駐在所、羅臼漁協による大津波警報発令に伴う注意喚起など災害時に行う関係機関の訓練を実施致しました。

防災訓練は次年度以降も継続して実施致しますので、町民皆様のご参加をお願い致します。



▲対策本部の様子

訓練想定

マグニチュード9.0

羅臼町の震度は6弱

予想される津波の高さは2m

北海道太平洋沿岸東部に「大津波警報発令」

普段の備えが大事

地震や津波などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。記憶があたらしいところでは、4月に熊本県で震度7が2回観測された地震があり、甚大な被害が発生しました。

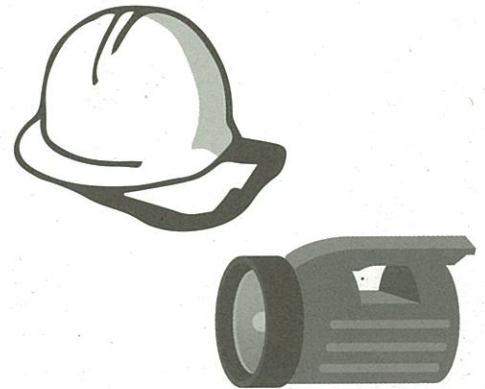
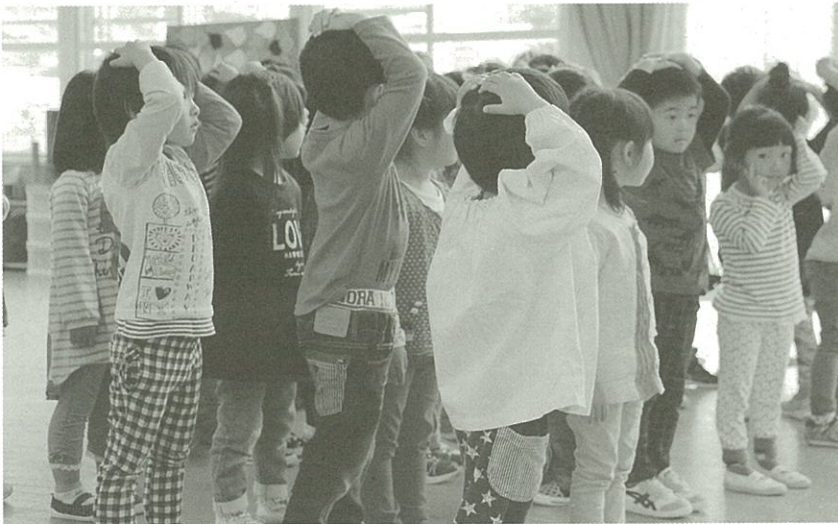
自然災害を食い止めることは出来ませんが、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。

例えば、家の中で家具の転倒防止対策を行うことや生き延びるために水や食料等の備蓄も必要です。

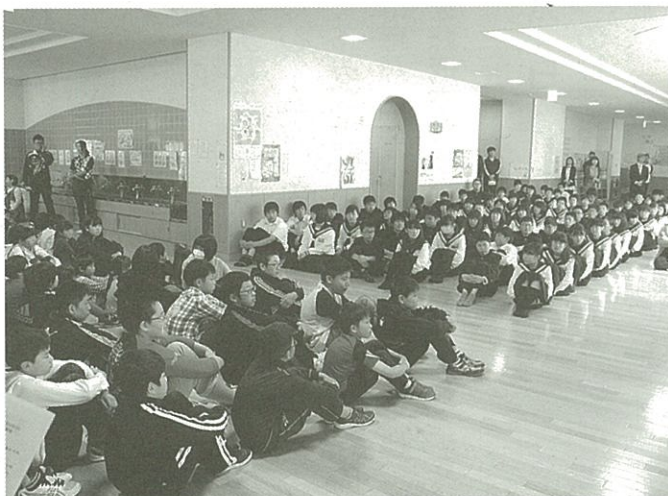
防災対策には、絶対大丈夫というものはありません。日頃から一人一人が、自分の周りにどのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害を出来るだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要なのではないのでしょうか。



▼羅臼幼稚園の避難訓練



▼負傷者搬送受入訓練



▲春松幼・小・中及びありんこの合同避難訓練



究極の「昆布王」

■高級ブランド「羅臼昆布」

羅臼昆布の採取は、明治三十八年の統計から記録されており、試みに昆布を採取し、大阪方面へ出荷したところ、高価に買い入れられた事から、主業の傍ら採取するようになったと言われています。昆布採藻漁業が大きく伸びたのは、昭和十年代に入ってからであり、漁業生産高の中で首位を占める程になりました。

羅臼昆布は知床半島羅臼沿岸で採取される利尻系工ナガオニコンプといい、利尻昆布、真昆布と並ぶ高級昆布のひとつであります。

■美味しいモノにはワケがある

羅臼昆布の最大の特徴とも言われている、幾重にも渡る丁寧な作業工程。他産地よりはるかに手間のかかる工程は実に二十三を数えます。製品化されるまでに様々な昆布漁師の技が成され、高級ブランド「羅臼昆布」へと生まれ変わるのであります。

「二十三の工程からなる「羅臼昆布」、
手間をかけているから「うまい」と感じられる「羅臼昆布」

一、昆布を採る

七月下旬から八月の昆布漁で長さ三m近くにも成長した二年ものの昆布を海底からねじりとりまします。

二、浜に干す

玉砂利の上で干し、朝並べ日没前までに取り込み、二三日で完全に乾燥させます。

三、しめりをいれる

他産地はここで干しが終了しますが、羅臼昆布はこの後が肝心。日が落ちてから昆布を浜に並べ、乾いた昆布をわざわざ夜露にあててしめらせます。

四、昆布を巻く

しめりが乾燥しないうちに、手でシワをのびしながらしつかりと巻き一晩おきます。

五、奄蒸あんじょう

玉状に巻かれた昆布をほどこいて長く伸ばし、ムシロの上に積み上げ、シートにくるみ、上から重石をします。この作業は奄蒸といって昆布の色を良くし、旨味を熟成させる大切な作業となります。

六、日入れと奄蒸あんじょう

のしてあった昆布を一齐に浜に出して並べ、最後の日入れを行います。すっきり乾燥させてから取り込み、再び重石をして奄蒸させます。

七、ヒレ刈りと製品化

二度目の奄蒸を終えた昆布は一枚一枚ヒレ(端の部分)をハサミで切り、形を整えます。三度目の奄蒸後、等級ごとに選別し、厳しい製品検査を経て、全国へ出荷されます。



羅臼昆布の魅力発信

■ギャラリーミグラード

五月にプレオープンされ七月十六日のオープンをめぐって、観光協会事務局や会員、町民の方々をはじめ、作り上げてきた「ギャラリーミグラード」。

オープン企画として、七月の昆布漁に併せギャラリーでは大正時代から現代まで続く、知床岬先端部での羅臼昆布漁が映された貴重な写真を風景や歴史とともに感じられる内容となっております。

いままで感じたことのない「新感覚」、そんな空間を堪能してみたいかがでしょうか。



日時：平成28年7月16日～8月15日
(土)～(月)10:00～16:00
会場：ギャラリーミグラード (本町)

■知床羅臼町キッチン

この度、羅臼町で日本最大級の料理レシピサービス「クックパッド」と連携し、「知床羅臼町キッチン」を開設致しました。

町民の皆様が日頃からご家庭で召し上がっているイチオシの料理や調理法など羅臼の人々が伝えたい「食」を一人でも多くの人に伝え、羅臼食材の消費・販路の拡大を図ることを目的としております。町民の皆様の羅臼食材を使用した自慢のレシピを大募集しております。

詳細については羅臼町ホームページをご覧になるか、羅臼町役場まちづくり課までお問い合わせ下さい。



「知床羅臼町キッチン」
<http://cookpad.com/kitchen/15100480>
「羅臼町ホームページ」
<http://www.rausu-town.jp/>

暑い夏にサラッと食べたい！今日作りたい昆布レシピ

～羅臼町教育委員会管理栄養士が紹介する三段活用術～

1 水出し昆布だし

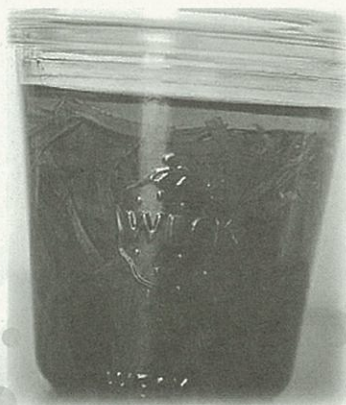
昆布(乾燥) 10gをキッチンばさみで細かく切り、水1ℓに浸けて冷蔵庫で一晩置くだけで完成です。この出がらしを利用します。

オリーブオイル昆布を焼き油に使用すると色んな料理に活用できます。

2 オリーブオイル昆布

だしを取った後の昆布を水切りして、オリーブオイル150gと混ぜるだけで完成です。ただの油だけよりも旨味UP↑

(参考書籍：奇跡の昆布革命
大和書房 喜多條清光 著)



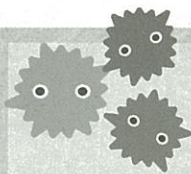
3 バーニャカウダ風ソース

材料 (4～5人前)

プレーンヨーグルト	200g
オリーブオイル昆布	小さじ2
おろしにんにく	1かけ分
こしょう	適宜
アンチョビペースト	大さじ1

作り方

- ①キッチンペーパーを敷いたザルの上にヨーグルトを入れてボウルで水分を受け、三時間～半日冷蔵庫において水切りヨーグルトを作ります。
- ②耐熱容器に材料を全て入れて混ぜ合わせ、ラップをかけて電子レンジで三分(600W)加熱したら完成です。



食中毒にご用心



ヘルス チェック

気温や湿度が高く細菌が増えやすい時期は、家庭での食中毒も増えやすいので注意が必要です。特に子どもや高齢者は食中毒になると重症化しやすいため、家族みんなですべてを心がけましょう。

予防の3原則は菌やウイルスを『つけない』『ふやさない』『やっつける』の3つです。家庭でできる予防はキッチンを清潔にし、こまめに手洗いを心がけ、暑い日の買い物には保冷バックと保冷剤(氷)を利用するのもよいでしょう。また、買い物から帰ったら生鮮食品はすぐに冷凍庫や冷蔵庫(入れるのは7割程度)へ保管、まな板・ふきん・水切りかごの消毒、出来上がった料理は室温に放置しない(時間が経ち過ぎて怪しいと思ったら思い切って捨てる)、生ごみはキッチンに放置せずこまめに捨てるなど実践してみてください。

【おもな食中毒菌】

原因菌・ウイルス	おもな感染源	おもな症状
サルモネラ	鶏卵・鶏肉・豚肉など	下痢・腹痛・悪寒・発熱、おう吐、頭痛など
腸炎ビブリオ	魚介類など	差し込むような腹痛、激しい下痢
カンピロバクター	食肉(特に鶏肉)など	発熱、けん怠感、筋肉痛に続いて吐き気、下痢
腸管出血性大腸菌O-157	食肉(特に牛肉)など	激しい腹痛、血便(鮮血)の他、合併症を起こす
黄色ブドウ球菌	調理者の手指を介した食品など	吐き気、おう吐、下痢、腹痛
ウエルシュ菌	食肉・魚介類など	下痢、軽い腹痛
ノロウイルス	生ガキ・調理者の手を介した食品・飲料水など	おう吐、腹痛、下痢、頭痛、発熱など

【食中毒予防の3原則】



羅臼町役場 保健福祉課 栄養士 TEL87-2161

子育て情報ひろば ~すくすく~

★健康ヨーガ教室★

羅臼町子育て支援センター「ありんこ」では毎月二回健康ヨーガ教室をおこなっています。『ありんこ』登録者ならどなたでも参加できますし、登録者以外の方は『ありんこ』でおこなわれる行事や保健事業などの、お手伝いをするボランティアに登録していただくことも可能です。



★一時預かり事業★

毎週火曜・水曜日の十三時から十六時まで子育て支援センター「ありんこ」にて一歳から幼稚園就園前のお子様を対象に、一時預かりをおこなっています。気軽にお問い合わせ下さい。

◆健康ヨーガ教室・一時預かり事業、どちらも事前に申し込みが必要ですので下記の連絡先まで、お問い合わせ下さい。

★8月・9月の子育て支援センター情報♪

☆ありんこ広場(0歳~3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳~3歳対象)

8月 1日 ママの日♪	8月 4日 健康ヨーガ教室	8月 5日 すくすく広場
8月18日 健康ヨーガ教室	8月19日 のびのび遠足	8月31日 春松幼稚園訪問
9月 2日 すくすく広場	9月 5日 ママの日♪	9月 7日 羅臼幼稚園訪問
9月15日 ヨーガ教室	9月26日 計測	9月29日 ★おはなし会
9月30日 のびのび広場		

*健康ヨーガ教室については事前に申し込みが必要です。★印は公民館で行います。
*お問合せ先: 羅臼町子育て支援センター「ありんこ」 TEL88-1515

むし歯のない子を 発表します

- * 対象は年長さんで、平成28年度の幼稚園歯科健診でむし歯がなく、かつ3歳児歯科健診時にむし歯がなかったお子さんです。
- * 幼稚園歯科健診を受けなかったお子さんは対象外となります。

住所	対象者指名	住所	対象者指名
峯浜町	ナカヤ ユウト 中谷 優斗くん	礼文町	イガ ラシテツジ 五十嵐鉄二くん
	ニシカワキョウイチロウ 西川焯一朗くん		ナカムラ リト 中村 凜斗くん
幌萌町	ヨシムラ ワカナ 吉村 羽叶ちゃん		ナカヤ ソウタロウ 中谷蒼太朗くん
春日町	サイ ル ナ 佐井 琉愛ちゃん		フシミ ユア 伏見 優歩くん
	サカモト ナユ 坂本 椰結ちゃん		ムラカミ カイセイ 村上 開誠くん
麻布町	タネ ダキョウタ ロウ 種田響太郎くん		緑 町
	フナミズ 船水 サラちゃん	栄 町	イズミカワ モモカ 泉川 桃佳ちゃん
知昭町	トガシ サク 富樫 作公くん	船見町	サイトウ コハル 斉藤 心春ちゃん
松法町	カウチヤ トウゴ 川内谷統牙くん		タナカ ノノ 田中 希埜ちゃん



幼稚園歯科健診を受けた39人中18人がむし歯ゼロです

こんにちは。役場の歯科衛生士です。
平成二十八年度から、年長さんのむし歯のなかったお子さんの表彰式を行うことにいたしました。七月五日、十四人が参加してとてもいい笑顔で町長から表彰状を受け取りました。
五、六歳頃からは、大人の歯が生えてくる年齢です。特に奥の六歳臼歯は、大人の歯の中で一番大きく、噛む力も強いのが特徴です。でも一番奥で磨きにくく、生えてくるまで時間がかかるため、むし歯になりやすい歯です。
お子さんが一人で磨いていても、実際には汚れがきちんと落ちていないことが多いので、お父さんやお母さんの仕上げ磨きが必要となります。



す。これから次々と大人の歯が生えてくる年齢となるため、横から出て来ていないかなどチェックも兼ねて、お子さんのお口をのぞいてみるのもいいでしょう。親子で健康なお口でいられるよう、頑張ってくださいね。

ステップアップ☆働きたいを「仕事」にする

障がいのある方の就労の場

とっどる 就労継続支援B型事業所

「とっどる」って何？

「とっどる」は平成26年4月に羅臼町に初めて開設された羅臼町社会福祉協議会が運営している就労継続支援事業所です。障がいがあることで一般企業に働くことが困難な方が通所し訓練や作業を通じて知識や能力を向上するために支援しています。また、障がい者の方の福祉的就労施設としても活動しています。

どんなことをしているのですか？

現在は利用者定員10名のうち8名が通所し、指導員4名体制で利用者の個性にあわせて様々な訓練・作業の支援をしています。

公共施設の清掃、おつまみ昆布の袋詰め、いかの燻製や手芸・工芸作品づくりをしています。

製品は町内外のイベントに参加し販売をしています。



☆☆とっどる オススメの商品☆☆

- ・流木の自然な形をいかした写真たて
- ・小学校入学時の必需品「箸入れ巾着袋」
- ・いかの燻製「いかくん」（今年から町内4ヶ所の商店で販売）
- ・きゅ〜っと焼き※

※イベントの時だけ登場！

羅臼昆布だしを混ぜ込んだ小麦粉の生地とイカのあしを一緒に鉄板で押しつけて焼いています！



これから「とっどる」が目指す事と課題

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らして行くために精神的・経済的自立に向けて福祉的就労作業を拡大し、工賃向上を目指していきます。又、家族がいなくなっても自立して羅臼の町で暮らしていけるように就労の場と住居（グループホーム等）の両立が大きな課題になっています。

町民の皆様へ

私たちは地域住民の方々との交流を楽しみにしています。事務所内にはたくさんの作品を展示していますので、いつでもお越し下さい。

問合せ先

とっどる（羅臼町社会福祉協議会1階）

電話・Fax 87-4114（羅臼町栄町8番地1）



まうカフェ紹介

～みんなで育む・みんなの診療所～

今回は診療所の活動のひとつ、「まうカフェ」を紹介します。

診療所の職員住宅のうち、もっとも診療所に近いのが「あるびしら・まう」です。ここには診療所の職員が住んでいますが建物の一階には少し大きめのリビングルームがあります。このリビングルームを会場にして、月に1回「まうカフェ」という茶話会を開催しています。

公民館「こまぐさ学級」の参加者に声をかけて昨年8月から「まうカフェ」は始まりました。

参加者の皆さんはご近所さんがほとんどで今のところは女性ばかりです。参加費は不要で、出欠の連絡も必要ありません。出欠を事前に聞かないと準備で戸惑うことも少しはありますが「カフェ」に行くのに事前連絡は普通しないので、その部分はあえて緩くしています。診療所の活動だからといっても参加者の血压などは測りません。まちのちょっとした「立ち寄りの場所」として存在したいからです。

「まうカフェ」の開催は月に1回で基本は第3の火曜日、時間は午前10時から12時の2時間です。お部屋に入るとまず名前を書いてもらい、それぞれ顔見知りさんと自由におしゃべりをして参加者が揃うのを待っています。「カフェ」ということで飲み物を提供しており、メニューは、コーヒー・紅茶・日本茶・レモンティー・紅茶ラテ・カフェラテ・抹茶ラテなどがあります。お好みの飲み物をどうぞ注文してください。

お茶を飲みながらの話題はさまざまで、「私の足の痛みはだいが前からなのよ」「朝ごはん何食べた?」「羅臼のお土産といったらやっぱり昆布だよ」などが会話の中身です。気軽に肩ひじはらずにおしゃべりすることは大切なストレス発散の機会です。

人は他者と交流することで「共感」という温かい心を確認したり、自分は一人ぼっちではないのだと感じとり「孤独感」をやわらげ、生きる活力を育てる事が出来ます。文字にすると大げさに聞こえるかもしれませんが哺乳類はもともと群れたがる習性があり「孤独」が辛いのは当たり前の事のようにです。

5月の「まうカフェ」では時間の前半で新聞紙を使った「エコバッグ作り」をしました。工作中的の様子は写真をご覧ください。作品の出来栄はいかがでしょうか。

後半は軽い筋トレとストレッチをしました。日頃、自分の「筋肉を伸ばす」ということを意識しないので「伸びた感じがする」という感想を聞いたのは良かったです。そして最後は誰もが上手くできない「指折りずらし数かぞえ」や「太ももの上スリスリトントン」をして皆で笑いました。これは文字だけではどのような動きをするのかわかりませんよね。知りたい人、興味のある人はどうぞ見に来てください。

人間は左右の腕や指で同時に同じ動きをしたくなるものですが、そこをあえて違うことをやらせることで脳に刺激を与えています。脳が反復繰り返し動作を学習してくれたのに、その学習効果に対してあえて覆す命令を脳に出させるのです。簡単に言うと、つい混乱してしまうような動きを皆さんにしてもらいます。うまくできないことで気落ちするのではなく、「出来ないことを楽しみ、笑ってしまおう」という活動です。

このような内容で「まうカフェ」の2時間は終了します。ささやかな目標は「今日も楽しく過ごせた」という気持ちを皆さんにもって頂きたく「まうカフェ」を開いています。ぜひ、お待ちしております。



～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 Tel87-2116



ESD日米教員交流

六月二十五日(土) 米国教員訪問団の受け入れ

日米両国の政府が行っている「ESD日米教員交流プログラム」によりミシガン、オレゴン、アリゾナ、ノースカロライナ、カリフォルニア、ワシントン、フロリダなどアメリカ合衆国の各場所から十名の先生方が羅臼町を訪問しました。

先生方は学校の種類も幼稚園の先生や高校の先生と様々で、地理、算数、理科、語学と教科もいろいろです。

共通しているのは皆がそれぞれESDに取り組んでいるということです。

ESDとは、「持続可能な開発のための教育」と翻訳されています。「将来の世代に必要な資源を損なうことなく、現在の世代の生活を満足させること」これが持続可能な開発です。そのための教育がESDです。

学校への訪問が主たる目的ですが、世界遺産の地である羅臼町の人々の生活を体験し、日本の文化への理解を深めることも重要なテーマの一つでした。そのため来町した十名がそれぞれ十軒の家庭に分かれてホームステイを行いました。

教育委員会では、四月から町民皆さんに呼びかけてホームステイの受け入れ先を募集したところ積極的な協力を頂戴しました。受け入れた家庭ごとに歓迎の仕方はいろいろだったでしょうが、先生方は一人残らず受け入れ家庭の家族と心を通わせ、満足していたようです。それは、ホームステイを終えてホテルに帰ってきたどの先生の表情にもよく表れていました。

また、米国教員団が羅臼を離れる前の夜に開かれたレセプションにも多くの受け入れ家庭の皆さん

が集まって下さり、別れを惜しんでいました。なかなか別れ難く、いつまでも手を取り合っていたり、何枚も何枚も写真を撮影したりしている家族の姿もありました。

先述した通り、今回の訪問の第一の目的は教育交流でしたが郷土資料館やビジターセンターの見学も行いました。さらにホームステイ時にホエールウォッチングを体験した先生もいたようで、世界遺産登録地「知床」の魅力について広くアメリカにアピールすることができました。そして、これをきっかけにもっと真剣に英語を勉強したいとか、アメリカへ行ってみたいと考え始めた中学生や高校生もいました。このように広く効果を及ぼした今回の訪問団受け入れでありました。

訪問団は二十九日朝、知床峠を越えて女満別空港へと向かいました。彼らの心の中には前夜のレセプションで、羅臼側の出席者全員で歌った「知床旅情」のメロディーが流れていたことでしょう。



★移動図書館バス 新規購入が決定★

移動図書館車「かもめのたまごっち号」が老朽化し、昨年九月から巡回を休止しておりますが、五月の臨時町議会で承認を得て図書館バスの新規購入が正式決定しましたのでお知らせいたします。但し、図書館バスは特殊車両であるため改装には最短でも七か月を要します。



その間の代替対応として電気自動車で箱詰めした本を運び、幼稚園や学校内で貸出をいたします。子どもたちが本の貸出を待ち望んでいたことが写真の行列で伝わりますね。
 峯浜地区の方は郷土資料館に設置した本棚をご利用ください。

◆春松幼稚園 ◆遊戯室



かわりに走るよ！



役場管理の電気自動車

◆羅臼幼稚園 ◆遊戯室



◆羅臼小学校 ◆図工室



◆春松小学校 ◆ロビー



●一般町民の方で、巡回を希望される方は公民館図書室までお問い合わせください。
 TEL87-2004 FAX87-2256

行列ができる「かもめのたまごっち号」 2か月半で2500冊を貸出！



城下町のわだい

みんながまちづくり

5月20日(金)

継続的なご厚意に感謝

今年も北海道コカ・コーラボトリング株式会社（佐々木康行社長）より町内の自動販売機の売上金の一部「307,721円」を知床・羅臼まちづくり基金の「知床の自然保護・保全に関する事業」に寄付していただきました。

この寄付は、平成二十年から行われており、総額「2,970,955円」の寄付をいただいております。ありがとうございます。



5月29日・6月11日

町内ボランティア清掃活動 ～協働のまちづくりを地域へ～

今年も、「本町みどりの会」と「群羊会」の皆さんがオジロ橋の草むしりを行いました。
「本町みどりの会」の皆さんの美化活動は、今年で十九年目を迎えました。平均年齢が七十六歳と高齢化が進んでおり、今後は「群羊会」の皆さんが中心となり美化活動を続けてくださるようです。

また、「松緑」の皆さんは、国道沿いの草刈りや、展望塔の道等ゴミ拾いをやりました。また、冷たい中、作業したいが、うきあいがたうございまして。



▲5月29日実施



▲6月11日実施

6月5日・7月6日

ゴミ拾い清掃 ～自分の住む町をキレイに～

春松幼稚園の園児たちが、ゴミ拾いを行いました。
初めは、庭園の遊具周辺のゴミ拾いを自主的に行っていました。現在は、現在在は範囲を広げ幼稚園周辺のゴミ拾いを行っており、園児たちは、落ちてくるゴミを見つけては拾って清掃活動を頑張っていました。

また、ルサく泊間では、羅臼漁協青年部の主催で、環境省職員や役場職員など、総勢七十名の方々がゴミ拾いを行いました。
世界自然遺産の町として、一人一人が意識を高め、キレイな街になるように心がけていきます。
ご協力ありがとうございました。



▲7月6日実施



▼6月5日実施

6月18日(土)・19日(日)

第55回知床開き

小雨が降り続く中、高校生による「豊漁の舞」からお祭りはスタートし、綱引き大会では、女子の部で見事優勝したT.C.C.K.チームが今回3連覇を成し遂げ、会場内を大いに盛り上げてくれました。その後、「知床いぶき樽演奏」、「芸能まつり」に続き、知床開きの目玉イベントである「花火大会」をもって前夜祭は終了しました。翌日の当日祭も天候に恵まれなかったものの「千人踊り」から始まり「ドッチボール大会」、「津軽三味線演奏会」他、全日程無事に終了することが出来ました。会場内では、炉端で海産物を楽しむ親子や、ステージを楽しむ人たちが賑わっていました。

ご参加くださった皆様のおかげで今年も素晴らしい「知床開き」を開催することが出来ました。ありがとうございました。



高校生によるヨサコイ



負けられない「戦い」



踊りながら練り歩く「羅臼音頭」



羅臼らいず鷲羅踊り隊のみなさん



蟹汁を堪能



郷土芸能「知床いぶき樽」

6月10日(金)・11日(土)

これであなかも観光ガイド 「町民ガイド」認定研修会実施

知床羅臼町観光協会では、羅臼町を訪れる観光客や修学旅行生に基幹産業の漁業を紹介し案内が出来るように「観光協会認定ガイド制度」を作り、この度第一回目の町民ガイド研修会を実施しました。

研修会には町内の高校生から主婦の方々まで両日合わせて六十六名が受講し町民ガイドを目指しました。

研修内容は市場のセリや昆布倉庫を見学する際のルールや羅臼で獲れる魚の種類、昆布の消費流通状況や製品作りに係る取組み等を講師から説明を受け無事ガイド認定を受けていました。



6月25日(土)

祝 五十周年記念

昭和四十一年四月一日に発足された羅臼町連合町内会は、今年で五十年目を迎えられる、今回「記念式典・祝賀会」が開催されました。式典では阿部忠征前会長の功労者記念表彰が行われ、祝賀会では、知床いぶき樽保存会による郷土芸能等が披露され、会場内は和やかな雰囲気でした。五十周年のお祝いがされておりました。



6月26日(日)

総合優勝果たす

根室管内消防団員技能競技訓練大会が羅臼町(於尋麻布漁港)を会場に開催されました。

根室管内から五チームが集まり、四種目の競技で競い合う本大会で、羅臼消防団(七十七名)は、三種目で二位を獲得し、その中でも小型ポンプ操法訓練は点数が2倍となる目玉競技で、十六日間の特訓の成果を發揮しました。残りの一種目では一位を獲得し、見事総合優勝を果たしました。消防団員の皆様、お疲れ様でした。



6月22日(水)・23日(木)

社会人の仲間入り

羅臼高校二年生によるインターンシップが二日間にわたり実施されました。インターンシップは授業の一環として毎年取り組まれており、今年は羅臼町内三十事業所の協力を得て、二日間の日程を終了させました。

インターンシップを終えた生徒からは、「卒業後の進路を考える貴重な体験となり、将来に向けた想いがさらに強くなりました。」と前向きな意見が寄せられました。

来年度以降もインターンシップを継続させ更なる雇用につなげていきたいと進路指導部長の先生は想いを語ってくれました。



TAXコラム

(税務財政課通信)



「町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？」

平成28年度分の町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？
納期限を過ぎて納税した場合、遅れた日数に応じて延滞金が増加される場合がありますので、納付がお済みでない方は至急納税するようにお願いいたします。

「町・道民税は特別徴収が便利です！」

根室振興局と羅臼町では、従業員の利便性向上と税負担の公平を図るため、特別徴収の拡大に向けた取り組みを進めています。

【町・道民税の特別徴収とは】

町・道民税の特別徴収とは、事業主が、所得税の源泉徴収と同様に、納税義務者である従業員に代わって毎月支払う給与から町・道民税を徴収し、役場に納入していただく制度です。

所得税のように税額計算等をする必要がありませんし、従業員の方々にも様々なメリットがありますので、特別徴収を未実施の事業主の方は、特別徴収への切替えをお願いします。

【従業員の方々のメリット】

- ・1回あたりの負担が少なくなります。
1年分の納税が12回に分けられ、普通徴収(年4回)に比べて納めやすくなります。
- ・金融機関や役場窓口等へ納税に向かう手間がかかりません。
- ・毎月の給与から天引きされますので納め忘れがなく、滞納や納税証明が発行できないことを防ぐことができます。

【7・8月の休日・夜間窓口】

〈7月〉7月29日(金) 午後8時まで 〈8月〉8月31日(水) 午後8時まで ※7・8月は、休日窓口を休止いたします。
〈お問合せ先〉羅臼町役場税務財政課 TEL87-2113

平成二十八年度(第二回) 北海道警察官採用試験の受験者募集

- 受付期間
八月一日(月)～八月二十六日(金)
※電子申請による場合は八月二十四日(水)の午後五時三十分まで
- 試験日
九月十八日(日)
※中標津警察署で受験可能です
- 採用予定人員
男性A区分 四十名程度
女性A区分 二十名程度
男性B区分 百五十名程度
女性B区分 四十名程度
- 募集区分(男女共通)
A区分
大学(短期大学を除く)等を卒業した方(平成二十九年三月卒業見込みの方を含む。)
- B区分
A区分以外の方
- 募集年齢
A・B区分とも昭和五十九年四月二日から平成十一年四月一日までに生まれた方
- 問合わせ・願書配布先
中標津警察署 警務課
TEL 0153-721-0110
- 願書受付先
北海道警察本部 採用センター
中標津警察署(直接持ち込みのみ受付)

受章おめでとうございます

本間正子さんは昭和五十八年に保護司を拝命。約三十二年間保護司として活動し、平成二十八年六月三十日に瑞宝双光章の伝達が行われました。

受章が決まったときは「どうして私か」と驚きが大きかったと想いを語ってくれました。



寄付寄贈 ありがとうございます

- 【半透明袋寄贈】
明治安田生命 様
 - 【豊かな心身を育み、明日へとはばたくまちに関する事業】
加藤 隆 栄 様
加藤 榮 妙 様
 - 【中学校改築に関する事業】
有限会社 中谷漁漁業部 様
 - 【知床の自然保護・保全に関する事業】
北海道「カ・コ」ラボトリング(株) 様
(平成28年5月14日)
- 平成28年6月6日受付分掲載)

おぐやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)

(掲載はいずれも平成28年5月11日～平成28年7月10日受付分)

(掲載はいずれも平成28年5月11日～平成28年7月10日受付分)

羅白いさり火吟社

6月例会句
平成28年6月

つつどりの声しみ渡る霧の底

悠羅

川添を風戯れし新樹光

英美

蒲公英のスカート広げ十勝岳

鹿山

こぼるるや霽に清和の力満ち

泥舟

清和なる鎮守の森に水の音

羅牛

六月の航跡を追うブイの揺れ

日奈

万緑や稜線海へ傾けり

千鶴枝

俳句同好会「羅白いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。

〒086-11823 羅白町栄町

羅白いさり火吟社

宮腰 貴

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成28年6月末現在 ()内は平成28年5月末対比

人口 5,352人 (- 2) 男 2,645人 (- 4)
世帯 2,117世帯 (- 3) 女 2,707人 (+ 2)

編集後記

7月といえば「昆布漁」ですね。夏休みを利用して昆布のアルバイトをしていた学生時代をこの時期になると思い出します。宿題を後回しにするタイプなので昆布倉庫で作業している横で一人宿題に追われていたことも懐かしい思い出です。今回、昆布特集を掲載するにあたり、取材先では昆布に関するたくさんの情報をいただきました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。昆布レシピで紹介しているバーニャカウダ風ソースを早速作ってみようと思います。(A)

羅白町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅白の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りを持ち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅白町

■広報らうす平成28年7月号

編集/羅白町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅白町栄町100番地83
☎0153-87-2114
http://www.rausu-town.jp/